

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	医療法人善恵会ふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 積極的に地域行事に参加し、地域住民との交流が深められている。定期的に大正琴演奏、フラダンス、新舞踊鑑賞等のボランティアを受け入れ利用者と交流が図られている。小、中学校の職場体験や専門学校の実習生を受け入れ、楽しい時間を過ごしている。毎年恒例の「ふくろう祭り」には地域住民の参加が多く得られ、「豊橋鬼祭り」の際には鬼がホームに立ち寄り利用者の頭を撫でて貰う等交流を楽しんでいる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 運営推進会議は現職の市会議員や自治会長、民生委員長、地域包括支援センター職員、家族等が参加し、年六回開催されホームの活動や行事、ヒヤリハット、事故に至るまで報告されている。会議内に講和や一年間のホームの活動内容が分かるスライドショー鑑賞、会議後のイベント企画等盛り込み家族が楽しく参加出来るように実施されている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 行政とは運営推進会議への参加も得られ、ホームの活動状況を理解して貰い、連携が図られている。法人施設内の包括支援センターとは日常的に協力体制が取られている。市主催の研修に職員は参加し、内容はカンファレンスで共有されている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 職員は利用者の要望が聞けるような言葉掛けや対応に努めている。家族が気軽にホームに来訪出来る環境やイベント等を企画して意見、要望を聞き、速やかな対応に心掛けている。ホーム便りの「ふくろう新聞」を送付し、利用者の様子をコメント入りで知らせている。多くの家族が運営推進会議に参加し会議後のイベントでは毎回家族同士の交流の場となっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	忍 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	○		